

ぬいけ
沼池

標高465mに位置する淡水の自然沼。カキツバタやミスカマキリなどの貴重な動植物がみられ、環境省の特定植物群落や「重要湿地500」に選定されている。

公園概要

見渡す限りのススキ群落が広がる生石高原は、関西有数の規模を誇り、山頂からは四国、淡路島や摩耶山等の紀州の峰々の眺めを楽しむことができ、またハイキングやキャンプなどの利用も盛んです。

ススキ草原の維持のため、NPOや地元町により刈り取りや山焼きなどの自然環境保全活動が積極的に行われており、山焼きは3月の風物詩にもなっています。

箕六井財天社には、樹齢500年とされるカツラの巨木がみられ、県の天然記念物に指定されています。

沼池は、淡水の自然沼として優れた地形・地質景観を誇る一方で、貴重な動植物が生息することから、環境省の「重要湿地500」に選定されています。

位置情報



- ▼所在地域
・有田川町
・紀美野町
- ▼区域面積
426 ha
- ▼主要路線
・県道 180号
・県道 184号

利用マナー

自然公園は、地域のみさんの理解と協力で指定することができ、大切にされている場所です。一人一人がマナーに気をつけることが、美しい自然を守ることに繋がります。

- ▼ゴミは持ち帰りましょう
出した人が責任を持って持ち帰りましょう。
- ▼大きな音は出さないで
他の利用者の迷惑になったり、動物たちがびっくりしてしまいます。

おいしこうげん
生石高原のススキ

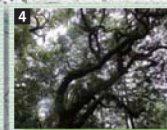
マツムシソウ、キイシモツケ等の多くの山野草が自生する広大なススキ草原。かつては実用的な力や取り場として人々の生活に密接に関係していた。

おいしがみね
生石ヶ峰

生石高原の中核をなす標高870mの山。周辺に遮るものがない山頂からは、眼下に紀州の山並みや遠く明石海峡や神戸までを眺望することができる。

かさいし
笠石

ススキ草原の中心に位置する巨岩。弘法大師が護摩を焚く修行を行ったとされ、弘法大師を祀った社がある。笠石の名は弘法大師の笠に由来すると言われている。

しょうせきじんじや
生石神社の社寺林

生石ヶ峰の山裾に位置し、生石高原の一角を構成する自然林。アカガシの巨木や貴重な着生植物であるシダやランが自生することでも知られている。

みろくべんさいてん
箕六井財天の社寺林

暖地帯林を示すアカガシやシキミ等で構成される自然林。巨木も多くみられ、中でも樹齢500年を誇るカツラの巨木は、県の天然記念物に指定されている。



写真左上(斜路)へ。



写真奥へ。



写真左上(斜路)へ。

凡例

- 自然公園区域
- 車道ルート
- 歩道ルート
- トイレ
- 水場
- 休憩所
- 売店
- 公衆電話
- 駐車場
- バス停
- 駅

0 1km

和歌山県
Wakayama Prefecture

環境生活総務課 自然環境室

〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1

TEL : 073-441-2779

FAX : 073-433-3590

メール : e0320004@pref.wakayama.lg.jp